

「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」の実現に向けて

令和3年度は、市制施行30周年の記念となる節目の年であり、「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」を目指す『第6次総合計画』の2年目です。
『市制施行30周年』を市民と共に祝いながら、新型コロナウイルスに負けず、3つの重点的な取組「子どもにやさしいまちづくり」「いつまでも健康でいられるまちづくり」「多様な働き方が実現できるまちづくり」を着実に進めていきます。

市制施行30周年記念事業 746万円

タイムカプセル開封等
記念事業

152万9千円

市勢要覧
発行事業

53万7千円

雨乞いのまち鶴ヶ島
活性化事業

100万円

ふるさと応援大使
連携事業

67万9千円

モニュメント時計塔
設置事業

350万円

未来の〇〇
発掘事業

21万5千円

重点戦略1

子どもにやさしい まちづくり

《主な事業》

(新規) 多子世帯応援事業

547万円

(新規) 学童保育室の整備

4,785万9千円

学童保育室建設事業(杉下小学校区)

500万5千円

学童保育室建設事業(栄小学校区)

4,285万4千円

(新規) 情報教育環境活用支援事業

2,046万7千円

(新規・拡充) 学校施設の環境改善

7,072万5千円

小学校空調更新事業

490万5千円

小学校体育館LED照明導入事業

6,582万円

重点戦略2

いつまでも健康でいられる まちづくり

《主な事業》

(継続) 健康長寿推進事業

2,623万8千円

一般会計 446万3千円

国民健康保険特別会計 86万円

介護保険特別会計 2,091万5千円

(拡充) 妊娠・出産・育児支援事業

5,065万6千円

(継続) 地域支え合い推進事業

1,540万円

(新規) つるがしま未来の森づくり事業

491万円

【その他の主な取組】

(新規・拡充) 災害対策・国土強靱化の推進

1,851万4千円

災害対策事業 1,346万5千円

国土強靱化推進事業 504万9千円

重点戦略3

多様な働き方が実現できる まちづくり

《主な事業》

(新規) 市内進出事業者等支援事業

404万5千円

(継続) 都市農業活性化推進事業

359万円

(新規) 藤金土地地区画整理事業事業化促進事業

31万7千円

(新規) 藤金地区地区計画住環境整備事業

715万2千円

(新規・拡充) 新型コロナウイルス感染症への対応

1億9,275万6千円

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

(新) 学童保育室建設事業 (栄小学校区)

目的 期待する効果	栄小学校校舎1階の余裕教室を改修整備し、学童保育室として活用することにより、放課後の児童の健全な育成の推進と、学童保育室の運営規模の適正化を図ります。
概要	令和2年度に実施した設計に基づき、栄小学校校舎1階の余裕教室を学童保育室に改修整備する工事を行います。 ・ 鉄筋コンクリート造4階建の1階部分 ・ 延べ床面積181.9㎡ ・ 定員76人規模
事業費	42,854千円
特記事項	杉下小学校区及び栄小学校区を一体的に捉えた学童施設の再編を行います。現在、栄小学校区学童保育室が使用している施設に、旧若葉駅西口土地区画整理事務所の土地建物を借用している杉下小学校区学童保育室が移転します。 その移転後、区画整理事業の進捗を受け、公園用地として活用するため、既存施設の撤去を行います。(別紙参照) (学童保育室建設事業(杉下小学校区) = 5,005千円)

担当部署	健康福祉部 こども支援課 子育て支援担当
連絡先	049-271-1111 (内線 154・155)
E-mail	10500040@city.tsurugashima.lg.jp

(新) 学童保育室建設事業 (栄小学校区)



(新) 学童保育室建設事業 (杉下小学校区)



鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしくお願いします

事業名

(新) 多子世帯応援事業

目的 期待する効果	第2子以降の子どもを出産された家庭に対して応援金を支給することにより、子どもの誕生を祝い、多子世帯の子育てを応援します。
概要	鶴ヶ島市では、子どもの誕生を祝い、多子世帯の子育てを応援することを目的として、第2子以降の子どもを出産された家庭に対して、応援金を支給します。 第2子誕生世帯 10,000円(167世帯見込み) 第3子以降誕生世帯 50,000円(76世帯見込み) (見込み世帯数は、人口動態調査から推計)
事業費	5,470千円
特記事項	

担当部署	健康福祉部 こども支援課 子育て支援担当
連絡先	049-271-1111 (内線 154・155)
E-mail	10500040@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

(新) 情報教育環境活用支援事業

目 的 期待する効果	GIGAスクール構想の一環として、全児童・生徒に一人一台整備した学習用端末を有効に活用するため、「ICT支援員」と「情報教育環境運用支援員」を配置するものです。情報教育環境活用の充実を図り、児童、生徒の学力向上を推進します。
概 要	1 「ICT支援員」が各小中学校を定期訪問し、授業支援や機器の操作指導を行う。(小学校：8校 中学校：5校) (1) 人数 鶴ヶ島市担当6名 (2) 訪問回数 1校あたり年28回(月2～3回) ※1日7時間勤務 (3) 期間 3年間(令和3年2月から令和6年1月) 2 「情報教育環境運用支援員」が市教育委員会に常駐し、ICT機器に関する各小中学校からの問い合わせや要望に対応する。 (1) 人数 1名 (2) 勤務 週5日 ※1日7時間勤務 (3) 期間 3年間(令和2年10月から令和5年9月)
事業費	20,467千円
特記事項	○GIGAスクール構想の現在の整備状況 ・校内LAN整備は令和2年11月工事完了 ・一人一台学習用端末は令和3年1月配置完了(Chromebook) ○学習支援ソフトはミライシード(ベネッセ)を導入 ○ICT支援員は、Google G-suite 利活用研修及びミライシードに係る研修を修了済み

担当部署	教育委員会 学校教育課 指導担当
連絡先	049-271-1111(内線524)
E-mail	10800020@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

学校施設の環境改善

目 的 期待する効果	市内小学校の児童の学習環境の向上を図るため学校施設の改善を行います。
概 要	児童の学習環境の向上を図るため、全小学校（8校）の体育館の照明を、LED化する工事を実施します。 （小学校体育館LED照明導入事業） また、老朽化により不具合の多い長久保小学校の空調設備について、更新工事の設計を行います。 （小学校空調更新事業）
事業費	（小学校体育館LED照明導入事業） 65,820千円 （小学校空調更新事業） 4,905千円
特記事項	※ 中学校（5校）の体育館照明のLED化は、令和2年度中に完了予定です。

担当部署	教育委員会 教育総務課 学校施設担当
連絡先	049-271-1111（内線514）
E-mail	10800010@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

妊娠・出産・育児支援事業

目 的 期待する効果	市民が安心して妊娠、出産、育児ができるよう、母子の健康の保持及び増進を図ります。
概 要	令和3年度からの新規事業として、子どもの聴覚障害の早期に発見し、早期療育につなげるため、新生児聴覚検査費の一部助成を開始し、市民が安心して妊娠、出産、育児ができるよう、母子の健康の保持及び増進を図ります。 ・新生児聴覚検査費助成対象者数 470名
事業費	(妊婦健康診査・新生児聴覚検査経費) 43,514千円
特記事項	

担当部署	鶴ヶ島市保健センター 母子保健担当 石田・津留
連絡先	電話 049-271-2745 FAX049-271-2747
E-mail	1500130@tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

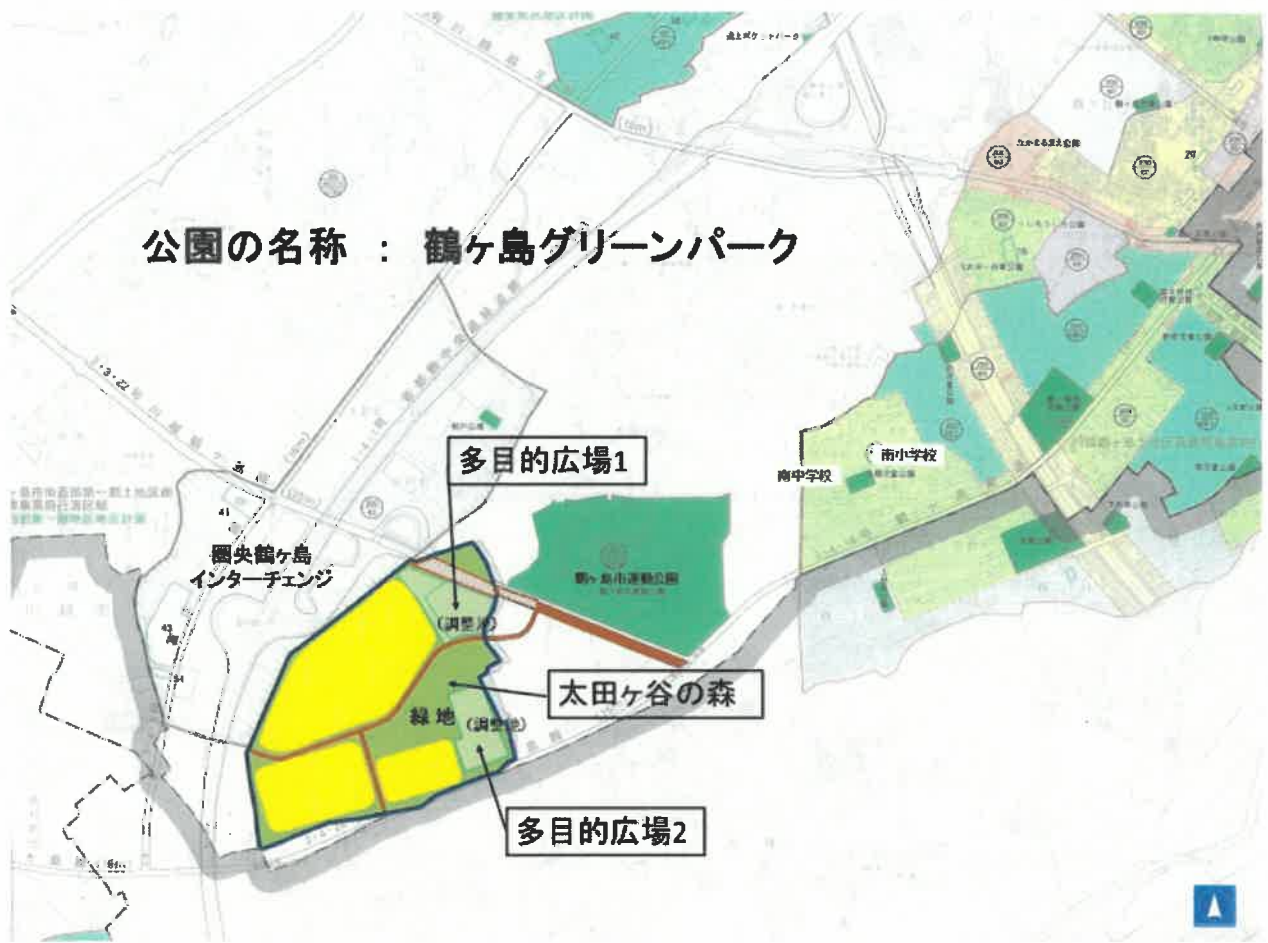
川越新聞記者会の皆さんよろしくお願いします

事業名

(新) つるがしま未来の森づくり事業

目的 期待する効果	埼玉県農業大学校跡地内に整備された鶴ヶ島グリーンパーク内の太田ヶ谷の森に植樹を行い、多くの市民に親しまれる憩いの場を作っていきます。
概要	埼玉県農業大学校跡地内に整備された鶴ヶ島グリーンパーク内の太田ヶ谷の森を、多くの市民に親しまれる憩いの場としていくため、樹木の少ない場所に市民とともに植樹を行います。 鶴ヶ島グリーンパーク 約12.9ha うち太田ヶ谷の森 約6.6ha 鶴ヶ島市運動公園を含めたこの一帯のエリアをひとつの拠点として、誰もが身近に緑を感じながら出歩けるなど、ゆとりや潤いを実感できるまちづくりを進めます。
事業費	4,910千円
特記事項	令和3年4月1日のオープン(供用開始)を予定しています。 「鶴ヶ島グリーンパーク」の名称は、①市職員に名称案を募集、②都市整備部職員及び入庁3年目までの若手職員による候補案の絞り込み、③地元の市立南小学校児童、市立南中学校の生徒の投票により決定しました。

担当部署	都市整備部 都市計画課 公園緑地担当
連絡先	049-271-1111 (内線 258)
E-mail	10600010@city.tsurugashima.lg.jp



鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

(新) 市内進出事業者等支援事業

目的 期待する効果	中小企業者や起業者の支援を行い、空き店舗の有効活用や地域産業の活性化を目指します。
概要	市内空き店舗を活用して、新規出店する起業・創業者及び新型コロナウイルス感染症対策などにより事業所等を他自治体から市内に移転する事業者に対して、店舗改修及び家賃の一部の補助を行い、空き店舗の有効活用や地域産業の活性化を目指します。 ※ 想定支援事業者数 4者（申込順） また、商工会と連携して、「創業塾」を開催します。 （予定補助内容） 出店に係る空き店舗の改修に要する経費 補助率 1/2 上限 400,000 円 空き店舗の賃貸借契約における初月から 12 か月間 補助率 1/2 上限 50,000 円/月 ※45 千円は創業塾経費
事業費	4, 0 4 5 千円
特記事項	

担当部署	市民生活部 産業振興課 商工労政担当
連絡先	049-271-1111（内線 232）
E-mail	10400110@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしくお願いします

事業名

藤金地区のまちづくりの推進

目的 期待する効果	藤金地区のまちづくりを推進し、住環境の充実を図ります。
概要	長期未着手であった藤金土地区画整理事業（約19.7ha）について、土地区画整理事業の施行区域から除外し、まちづくりを進める地区（約14.9ha）と、土地区画整理事業により、まちづくりを進める地区（約4.8ha）に分けて、住環境の整備を進めることとしました。 土地区画整理事業の施行区域から除外する地区については、地区計画に定めた地区施設を計画的に整備し、住環境の充実を図ります。 また、引き続き、施行区域縮小後の土地区画整理事業の立ち上げにあたっての合意形成等を支援することにより、当該事業の早期事業化を目指します。
事業費	（新）藤金土地区画整理事業事業化促進事業 317千円 （新）藤金地区地区計画住環境整備事業 7,152千円 ・ 路線測量（道路1）、用地測量（道路1・広場1）
特記事項	

担当部署	都市整備部 都市計画課 都市計画担当
連絡先	049-271-1111（内線252）
E-mail	10600010@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

災害対策事業

目 的 期待する効果	市民の生命、身体、財産を保護するため、災害時における新たな課題や対策について、平常時から体制を整えておくことで、被害の拡大防止と迅速な復旧、復興につなげていきます。
概 要	<災害対策経費（地域防災計画の改定）> 豪雨災害を踏まえた風水害対策や感染症への避難所対策などの新たな課題に対応した埼玉県地域防災計画の見直しに伴い、県計画との整合性を図るため、鶴ヶ島市地域防災計画を改定します。 <避難所環境改善対策経費（学校体育館への空調整備関係）> 高齢者など災害弱者に対する避難所での生活環境を改善し、健康面での二次被害を防止することをはじめ、学校施設としての教育環境の整備や健康増進に向けた市民スポーツの振興を図るための環境整備を進めるため、避難所となる学校体育館への空調設備の導入に向けた調査・設計を行います。 空調の設置は、収容可能人員など避難施設としての側面や部活動等での利用などを考慮し、中学校を対象とします。令和3年度は中学校1校分の調査・設計を行います。
事業費	◆災害対策事業 13,465千円 ○災害対策経費 7,723千円 （地域防災計画の改定…4,906千円、災害備蓄品購入等…2,817千円） ○避難所環境改善対策経費 1,949千円（学校体育館への空調整備関係） ○その他経費 3,793千円（防災行政無線運営等）
特記事項	

担当部署	市民生活部 安心安全推進課 防災担当
連絡先	049-271-1111 内線 371・372
E-mail	10400090@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

鶴ヶ島市は令和3年9月1日市制施行30周年を迎えます

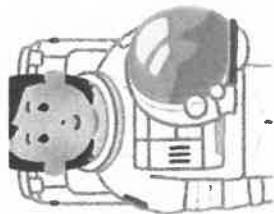
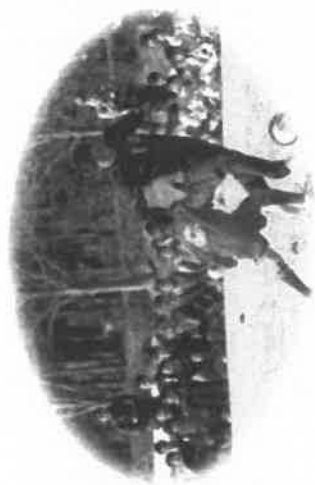
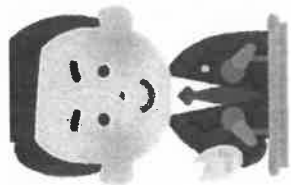
目 的 期待する効果	(市制施行30周年記念事業) 市制施行30周年を市民の皆さんと共に祝い、郷土意識を醸成することを目的とします。
概 要	○ 基本コンセプトは、「(市民とともに) 祝う」、「(未来に) つなげる」、「(鶴ヶ島の魅力を) 伝える」です。 ○ 新型コロナウイルス感染症に負けず、鶴ヶ島市が未来に向けて飛躍する第一歩となるよう、これからの時代を担う子どもたちや、若い世代を主役にした事業を行います。 <u>未来の〇〇発掘事業</u> 地元ゆかりのアスリートや企業とのコラボによる講演・教室の開催等 <u>雨乞いのまち鶴ヶ島活性化事業</u> 子ども達や親子等、幅広い世代が参加できる交流イベントの開催 <u>ふるさと応援大使連携事業</u> 『鶴』によるライブ開催等 <u>タイムカプセル開封等記念事業</u> など ※ 新型コロナウイルス感染症の関係もあり、それぞれの開催時期等については、未定です。その都度、プレスリリースします。
事業費	7, 460千円
特記事項	市制施行 平成3年(1991年)9月1日

担当部署	総合政策部 政策推進課 政策担当
連絡先	049-271-1111 (内線441・442)
E-mail	10200010@city.tsurugashima.lg.jp

未来の〇〇発掘事業

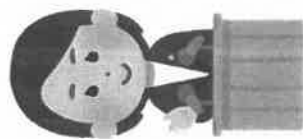
子どもたちの夢の応援、プラス…

- まちづくりへ興味・関心 → 未来の市長・議員発掘へ
- 地元企業への興味・関心 → 定住促進
- 郷土愛 → 定住促進、持続可能なまちづくり



作文コンクール「テーマ：未来の鶴ヶ島市 など（仮）」

- 入選者に発表の場を設け、「一日市長」等の特典をつける。動画配信も検討



「私が市長だったら…」

郷土愛

タイムカプセルの開封

- 時期 秋頃
- 場所 市役所
- 概要 平成3年の市制施行時に埋められたタイムカプセルを当時の関係者約100組を招いて開封する。

その他

- 農大跡地の活用
 - ①モニュメント時計塔設置
 - ②記念植樹（森づくり）
- 「こども宇宙プロジェクト」
- ラッピング郵便ポスト
- 記念グッズ配布 ほか



市役所バスロータリー付近に
建てられたタイムカプセルモニュメント



森づくり

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしくお願ひします

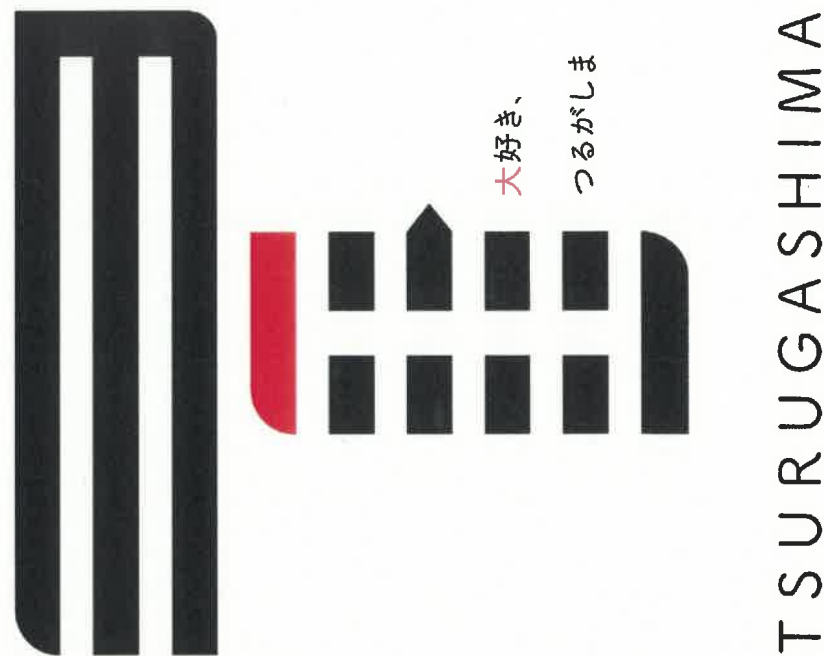
事業名

市制施行30周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ決定

目 的 期待する効果	市制施行30周年を市民の皆さんと共に祝い、郷土意識を醸成することを目的とします。
概 要	○ ロゴマーク (別紙のとおり) 鶴ヶ島ふるさと応援大使「鶴」のメンバーである^{かんだゆういちろう}神田雄一朗さんによるデザイン。 コメント 「ふるさと応援大使として、市制施行30周年に関わることができてうれしいです。デザインは遠くから見ても分かる鶴ヶ島の「T」に『トリプレミング』を持たせました。 1 鶴ヶ島の「T」 2 30周年の「30」 3 鳥の「鶴」のイメージ また、全体を見たときに、右上がりを感じるようにデザインしています。鶴ヶ島が未来に向かって『上昇していく』そんな想いを込めました。ぜひ、多くの皆さんに親しんでいただき、今後色々な場面で使ってもらえたらうれしいです。またひとつ親孝行ができました」 ○ キャッチフレーズ「大好き、つるがしま」 広報つるがしま1月号で公募。応募総数52件の中から市内在住の^{ながいみゆき}長井美由紀さんの作品が選ばれました。 コメント 「中学生の頃から鶴ヶ島に住んでおり、子どもたちも鶴ヶ島で育ちました。とても住みやすく良いところだと思います。これからたくさんの人に「大好き」になってもらえる鶴ヶ島であってほしいです」
特記事項	・ふるさと応援大使「鶴」は、鶴ヶ島西中学校出身の3人組バンドで、平成30年9月から市のふるさと応援大使を務める。現在2期目 ・ロゴはデータでの提供が可能です。担当までご連絡ください。

担当部署	総合政策部 政策推進課 政策担当
連絡先	049-271-1111 (内線 441・442)
E-mail	10200010@city.tsurugashima.lg.jp

市制施行30周年記念ロゴ・キャッチフレーズ決定



大好き、
つるがしま

(使用イメージ)

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

市内小中学校「卒業式」について

目 的 期待する効果	鶴ヶ島市教育委員会では、市内小中学校「卒業式」を、県教育委員会からの通知等を参考に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施することといたしました。 (小学校：8校 中学校：5校)
概 要	1 実施日 小学校 令和3年3月24日(水) 中学校 令和3年3月13日(土) 2 会 場 各学校の体育館 3 感染症対策 (1) 出席者の制限 卒業生、教職員、保護者各家庭2名以内、 来賓2名(市長部局と市教育委員会のみ) ※在校生については、生徒数と体育館の広さにより、一部参加の場合あり (2) 式の簡略化(時間短縮) (3) 会場設営の工夫 座席間隔の確保、会場内換気の徹底 (4) 基本行動の徹底 参加者の検温、手指消毒、マスク着用
特記事項	緊急事態宣言が解除された場合も変更はしない。

担当部署	教育委員会 学校教育課 指導担当
連絡先	049-271-1111(内線524)
E-mail	10800020@city.tsurugashima.lg.jp